

【海外拠点】山口銀行釜山支店、山口銀行青島支店、山口銀行大連支店、山口銀行香港駐在員事務所
 【現地駐在】TTB銀行(タイ・バンコク)、日本政策金融公庫バンコク駐在員事務所(タイ・バンコク)
 HD銀行(ベトナム・ホーチミン)、明倫国際法律事務所ホーチミンオフィス(ベトナム・ホーチミン)



【釜山支店】

【インサイト】ポストコロナの韓国市場を読み解く～第五回～

1. はじめに

前回の『【インサイト】ポストコロナの韓国市場を読み解く～第四回～』では、日本における半導体不足の現状と韓国国内における半導体産業動向、半導体の流通経路についてお伝えしました。デジタル化が進む現代において、世界の半導体市場は拡大していくことが予想されます。韓国国内にある半導体製造企業は、企業規模拡大の機会と捉え、積極的な投資を行っています。

今回は韓国経済の中心を担っている半導体産業において、活躍している企業を取り上げ、ビジネスの可能性について探っていきたいと思います。

2. 半導体産業企業事例①「サムスン電子」

サムスン電子株式会社は家電や電子部品・製品のメーカーです。日本においても同社が製造するスマートフォンやテレビといった家電を一度は見たことがあるのではないのでしょうか。世界のテレビ市場では、同社製品のシェアが継続して一位を維持しています。またご存じの方も多いとは思いますが、半導体やその周辺機器製造に関して、韓国の地位を向上させる原動力となっている企業です。

サムスン電子(株)直近3年決算 (単位:兆ウォン)

	2021年		2020年	2019年
	売上高	2020年比増減		
売上高	279.60	18.1%	236.81	230.40
CE部門(*1)	55.83	15.9%	48.17	45.32
IM部門(*2)	109.25	9.7%	99.59	107.27
DS部門(*3)	125.09	21.4%	103.04	95.52
半導体	94.16	29.2%	72.86	64.94
うちメモリー分野	72.60	30.7%	55.54	50.22
ハーマン部門(*4)	10.04	9.4%	9.18	10.08
営業利益	51.63	43.5%	35.99	27.77
CE部門	3.65	2.5%	3.56	2.51
IM部門	13.65	19.0%	11.47	9.27
DS部門	33.73	59.7%	21.12	15.58
半導体	29.20	55.2%	18.81	14.02
ハーマン部門	0.60	900.0%	0.06	0.32
当期純利益	39.91	51.1%	26.41	21.74

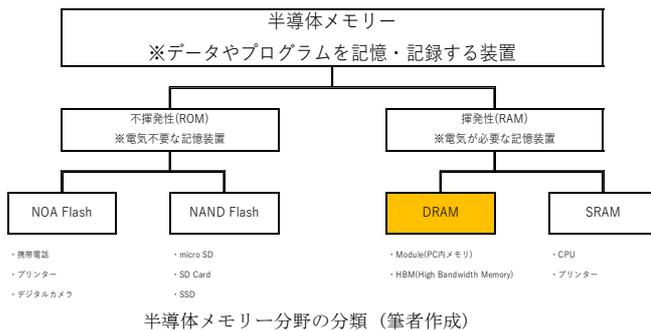
(*1)コンシューマーエレクトロニクス。テレビ等の家電が含まれる。

(*2)IT&モバイルコミュニケーションズ。スマートフォンやPC、タブレット等が含まれる。

(*3)デバイスソリューションズ。半導体関連製品が含まれる。

(*4)サムスン電子(株)が買収した、米国のハーマン・インターナショナルの略。

(出典) DART(金融監督院決算公示システム)



サムスン電子半導体新工場

(出典)サムスン電子(株) ニュースリリース

各電子機器に必要な不可欠である半導体部門においては安定的な売上高・利益を計上しており、コロナ禍が継続した2021年の連結決算でも半導体事業が好調な業績を支えています。同社の半導体事業の中で牽引している分野はメモリー・CPU分野であり、パソコンやスマートフォン、SDカードなどデータの記憶媒体としてよく使用されています。今後も安定した供給力、競合他社と比較した優位性を保つ方策として以下の様な投資を進める方針です。

サムスン電子(株)投資方針

分野	概要
半導体	(1) メモリー：14ナノ以下のDRAMや200層以上のNAND型フラッシュ等の開発を、技術と価格の両面から強固にしていく。 (2) システム半導体：開発工程への投資を積極的に実施し、イノベーション製品競争力の強化を行う。AIやデータセンターなどに関連するエコシステムの構築を行う。
バイオ	(1) CDMO(*5)：事業開始9年で3工場の稼働。現在建設中の4工場が完工すれば、CDMO分野のリーディングカンパニーとなる。今後バイオ医薬品の他に、ワクチンや細胞、遺伝子治療薬などの次世代治療薬のCDMOにも新規進出する計画。 (2) バイオシミラー(*6)：更なる高度技術化に向けて持続的に開発・投資を拡大する。
次世代通信	通信網の高度化や次世代通信ネットワーク技術の開発を継続的に実施する。次世代ネットワーク事業リーダーとして、新事業領域および製品ポートフォリオの拡張を推進する計画である。これらに関する人材の確保および研究開発投資を拡大する。
第4次産業革命	(1) 人工知能・ロボット：「グローバルAIセンター」を通じて先行した技術開発を行い、高性能AIアルゴリズムに適応したインテリジェント機器を拡大するなど、研究と事業の双方において競争力強化を行う。またロボット分野やスーパーコンピューターを活用した先端産業分野の設計ならびに開発を計画している。 (2) ディスプレイ・バッテリー：既存の商品を上回る次世代ディスプレイの開発・事業化と高密度高エネルギーバッテリーなどの開発を強化する。

(*5) Contract Development and Manufacturing Organization の略。製薬会社から医薬品の開発や生産を請け負う医薬品製剤開発・製造支援事業のこと。

(*6) 先発のバイオ医薬品の特許が切れた後に発売・生産される後発バイオ医薬品。

(出典) サムスン電子(株) ニュースリリース

メモリー・CPU 分野の競争力維持を継続しながら、人工知能や次世代ネットワーク、エコシステムへの参入等へ投資する意向です。同社がこれまでも行ってきた未来への積極投資姿勢はこれからも変わらないのではないかと推測します。

3. 半導体産業企業事例②「SK ハイニックス」

SK ハイニックス株式会社は前述したサムスン電子に次いで韓国国内2位の半導体メーカーです。サムスン電子同様メモリー・CPU分野を得意とし、収益の約9割を占めています。現在は韓国通信大手SKテレコムの子会社です。

同社は半導体事業のみを行っており、2021年の連結決算では売上大幅増により、営業規模が過去最高を記録しています。新型コロナウイルスの影響が長期化していることから、テレワーク普及によるPC需要、世界的半導体不足等により半導体メモリー需要急増が後押ししているのではないかと考えられます。

同社の事業展開として、2020年10月にIntel(米国)の一部事業を90億米ドルにて買収することを発表しています。これはビックデータ時代を迎えている現代において急成長している、NANDメモリーとストレージ分野の企業向けソリューション競争力を強化する目的があります。このメモリー・CPU分野に特化した投資背景からも、高付加価値商品の開発・販売を行っていく企業方針であることが読み取れます。

SKハイニックス(株)直近3年決算 (単位:兆ウォン)

	2021年		2020年	2019年
	2020年比増減			
売上高	43.00	34.8%	31.90	26.99
営業利益	12.41	147.7%	5.01	2.72
当期純利益	9.62	102.1%	4.76	2.01

(出典) DART(金融監督院決算公示システム)



SKハイニックス半導体工場

(出典) SKハイニックス(株) ニュースリリース

4. 半導体産業企業事例③ その他韓国企業

上述した2社以外にも、韓国では半導体に関係する様々な企業が活躍しています。

メモリー分野に特化している印象を受ける韓国半導体産業ですが、ダイオード類やトランジスタ類等、様々な分野に対応できるほか、設備・部品等の供給業者も多く活躍しています。

半導体にかかるサプライチェーンは国を跨ぐケースも多く一概には言えませんが、半導体調達上の課題が生じた場合、韓国企業との連携を検討されてみてはいかがでしょうか。

韓国半導体産業協会加盟企業

分野	企業名	特徴
デバイスメーカー (全10社)	㈱ケイイーシー	・電力半導体に特化したメーカー ・ダイオード類の自社製造が可能
	㈱コムインエスティ	・フィルム型液体感知センサーに特化 ・施設安全管理、防災分野に強み
テスト/パッケージング (全6社)	㈱エイティセミコン	・半導体製造の後工程を担当 ・アッセンブリ、メモリ検査ライン保有
	キューアールティ㈱	・車両用半導体検査に強み
	㈱テスナ	・半導体機能テストに特化した企業
設計 (全78社)	AP衛星㈱	・衛星通信分野、宇宙通信分野に特化 ・衛星電話等のデバイスを開発
	㈱LXセミコン	・ディスプレイ関連の設計、開発 ・OLED、タッチセンサー開発等に強み
	㈱カオンチップス	・システム半導体開発チップレス企業
商社 (全4社)	㈱エスエイエムティ	・サムソン製DRAM、SSD等の取扱 ・アップル社正規デистриビューター
	㈱ウウォンテクノロジー	・欧米のメーカー中心の取扱
	新星半導体㈱	・サムソン電子関連製品サプライヤー
	㈱韓国エイティイーアイ	・半導体検査機器開発が主力業務
材料 (全39社)	OCI㈱	・ポリシリコン、高純度リン酸等製造
	SKシルترون㈱	・シリコンウエハー製造
	KISCO	・染料、塗料、有機EL材料製造
設備 (全91社)	APシステム㈱	・熱処理装置、レーザー処理装置等製造
	㈱グローバルスタンドテクノロジー	・半導体プロセスガス処理装置製造
	㈱ギガライン	・プラズマエッチング装置および ナノインプリンタ装置製造専門企業
部品、消耗品 (全38社)	㈱ナインベル	・ロボット、AI関連設備開発に強み
	㈱金剛クオーツ	・半導体用クオーツ製品供給専門企業
	㈱ネフコ	・半導体用フォトマスク製品供給
	㈱ニューパワープラズマ	・プラズマ電源装置、洗浄装置等供給

(韓国輸入協会サイトより筆者編集)

5. 韓国と日本の半導体取引状況

日本の韓国製半導体輸入状況については、統計でも確認できるように、直近5年では日本が行っている半導体関連の輸入金額全体の約10%を韓国が占めています。安定的な供給割合を継続してきている為、今後も日本における半導体輸入の一角を担っていくのではないかと考えられます。日本が韓国から多く輸入しているのは、韓国が得意としているメモリー分野関連のものです。

韓国はメモリー分野において世界トップレベルの技術競争力を保持していますが、前述したサムスン電子の新たな分野への投資で、将来的にメモリー以外の人工知能等の分野の輸出割合は増える可能性が十分に考えられます。前回のアジアニュースにて取り上げた、韓国政府による「K-半導体戦略」支援の進捗度合についても注目していくべきかと思料します。

韓国への半導体輸出状況についても見てみましょう。2019年7月に日本が韓国に対して行った「半導体原料の輸出規制」により、2019年の半導体輸出額・割合は減少しています。しかしながら日本製の半導体製造材料は高性能なものが多い為、規制後もある程度の割合を韓国へ輸出していることが分かります。韓国では半導体材料を自国供給する方針が高まっていることから、最近では韓国企業との合弁企業設立によって海外進出を果たしている日系企業も出てきています。

6. おわりに

前回と今回のアジアニュースは、韓国の代表的な産業『半導体』にスポットライトを当てお伝えしました。韓国にとって同産業は、将来にわたり基幹産業として積極的な投資が行われることが予想されています。

半導体産業は専門性が高いこと、国際的な分業が進んでいることから、なかなか取引の変更や新規取引が難しい分野ではないかと考えます。しかし、韓国の半導体産業に関する裾野は広く、韓国企業との協業により、もしかしたら皆様のビジネス上の課題に合った解決策が見いだせるかもしれません。

当店では韓国でのビジネス拡大を検討されている皆様へ多彩な支援プログラムをご用意しております。ご関心のある方は是非当店までご連絡ください。いつでも皆様のご連絡をお待ちしております。



(出典) 税関 HP



(出典) 税関 HP

(山口銀行釜山支店 一ノ瀬 友暉)

【参考文献】

DART（金融監督院決算公示システム）

<https://dart.fss.or.kr/main.do>

サムスン電子株式会社 HP

<https://www.samsung.com/sec/>

聯合ニュース：サムスン電子 16年連続テレビ世界1位

<https://jp.yna.co.kr/view/AJP20220220000700882>

京畿日報：サムスンの投資拡大発表、京畿道から全世界の「半導体メッカ」へ

<http://www.kyeonggi.com/news/articleView.html?idxno=2378103>

SKハイニックス株式会社 HP

<https://www.skhynix.com/>

聯合ニュース：SKハイニックスのインテル NAND 事業買収 中国当局が承認

<https://jp.yna.co.kr/view/AJP20211222004300882>

税関 HP；財務省貿易統計

<https://www.customs.go.jp/toukei/info/index.htm>

ハンキョレ：半導体専門家 100人へ尋ねた…国内技術水準は何点？

https://www.hani.co.kr/arti/economy/economy_general/994069.html?_ga=2.123068939.1042438668.1646616749-1170701562.1646616749

INVEST KOREA：半導体・ディスプレイ分野 業界資料

https://www.investkorea.org/file/ik-jp/Semiconductor&Display_2020_jpn.pdf

韓国半導体産業協会

<https://www.ksia.or.kr/uindex.php>